

# 統計調査ニュース

令和8年(2026年)6月

No.475

## 第10回「地方公共団体における統計データ利活用表彰」

～ゼロコストで実現する水道有収率詳細可視化と漏水リスク対策～

岐阜県関市財務部行政情報課



第10回「地方公共団体における統計データ利活用表彰」において、本市が取り組んだ「ゼロコストで実現する水道有収率詳細可視化と漏水リスク対策」を総務大臣賞に選んでいただきました。

岐阜県関市では、水道事業の経営効率を示す有収率が約65%と他自治体と比して低い水準にあり、老朽化した管路への対策が長年の懸案でした。しかし、スマートメーター等の最新設備導入には多額のコストを要するため、限られた予算でいかに効率よく漏水箇所に対応していくかが大きな課題となっていました。そこで本市では、市が保有する検針データなどの既存データを活用し、詳細な分析ツールを構築する手法を選択しました。

具体的には、世帯分布、水道検針データ、配水量データ、管路や過去の漏水履歴を使用しマップ上にプロットすることで直感的に有収率の低いエリアを特定できるようにしました。単身・複数世帯といった構成属性による水使用傾向の違いを考慮した加重平均を組み

合わせることで、市内全域を250mメッシュ単位で区切り、有収率を色の濃淡で直感的に把握できるダッシュボードを作成しました。

この可視化により、有収率が減少傾向にあるエリアをピンポイントで特定し、漏水調査を重点実施するなどの戦略的な運用が可能となりました。管路の経年データや過去の修繕履歴を地図上で重ね合わせることで、工事後の改善効果も一目で検証でき、経験則に頼らないエビデンスに基づく判断が可能となりました。これにより、発生後の対応に追われる事後保全から、リスクを予測し先手を打つ予防保全への転換が進み、修繕の最適化とコスト削減に寄与します。

今回の手法のように既存データには、まだ十分に活用しきれていない大きな可能性が眠っています。今後もこうしたデータの価値を最大限に引き出す工夫を重ね、行政事業の更なる効率化及び効果的なEBPMを推進していきます。

### 目次

第10回「地方公共団体における統計データ利活用表彰」  
～ゼロコストで実現する水道有収率詳細可視化と  
漏水リスク対策～……………1  
家計調査(貯蓄・負債編)2025年(令和7年)平均結果の概要…2

令和8年度地方統計職員業務研修(中央研修)を開催しました…3  
令和8年度統計研修 本科(総合課程)(後期)の御案内……………4  
「明日への統計2026」を御活用ください……………5

# 家計調査(貯蓄・負債編)2025年(令和7年)平均結果の概要

家計調査では、世帯の収入や支出のほかに貯蓄・負債の保有状況を調査しています。この度、貯蓄・負債編の2025年(令和7年)平均結果を2026年5月19日に公表しましたので、その概要を紹介します。

## 1 貯蓄現在高は2059万円で、前年に比べ3.8%増加し、比較可能な2002年以降で最多

二人以上の世帯における2025年平均の1世帯当たり貯蓄現在高(平均値)<sup>※1</sup>は、2059万円で、前年に比べ75万円、3.8%の増加となり、7年連続の増加となるとともに、比較可能な2002年以降で最多となりました(図1)。

貯蓄現在高階級別の世帯分布をみると、平均値(2059万円)を下回る世帯が約3分の2を占めています。また、貯蓄保有世帯の中央値<sup>※2</sup>は、1264万円(前年1189万円)となりました(図2)。

- ※1 貯蓄現在高が「0」の世帯を含めた平均値
- ※2 貯蓄保有世帯の中央値とは、貯蓄現在高が「0」の世帯を除いた世帯を貯蓄現在高の少ない方から順番に並べたときに、ちょうど中央に位置する世帯の貯蓄現在高をいう。

図1 貯蓄現在高の推移(二人以上の世帯)

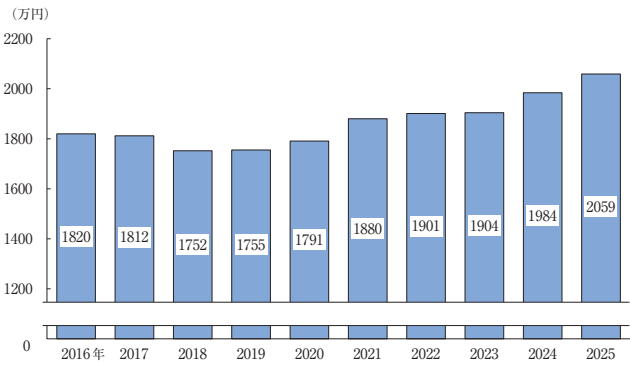
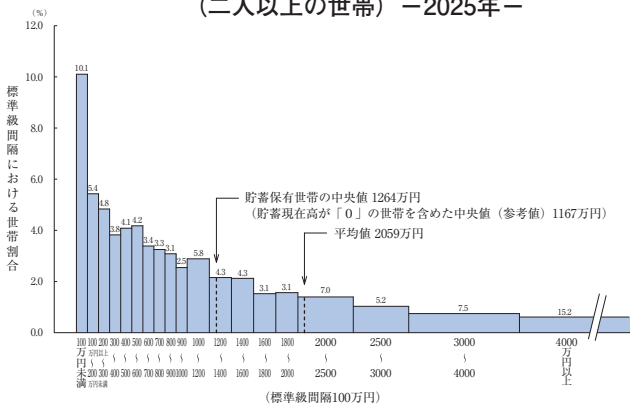


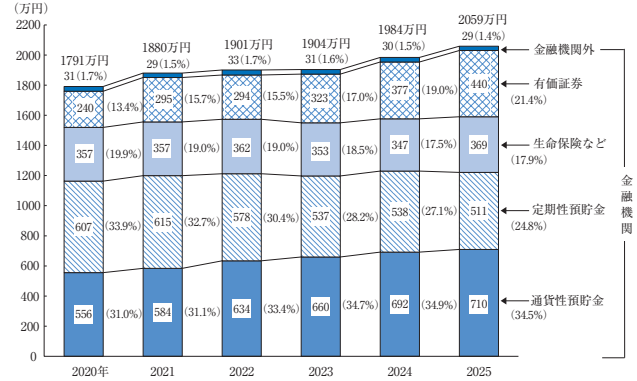
図2 貯蓄現在高階級別世帯分布(二人以上の世帯) - 2025年 -



## 2 通貨性預貯金は17年連続の増加

二人以上の世帯について貯蓄の種類別に1世帯当たり貯蓄現在高の推移をみると、通貨性預貯金は、前年に比べ18万円の増加となり、17年連続の増加となりました。有価証券は、前年に比べ63万円の増加となりました(図3)。

図3 貯蓄の種類別貯蓄現在高及び構成比の推移(二人以上の世帯)



(注) ( ) 内は、貯蓄現在高に占める割合

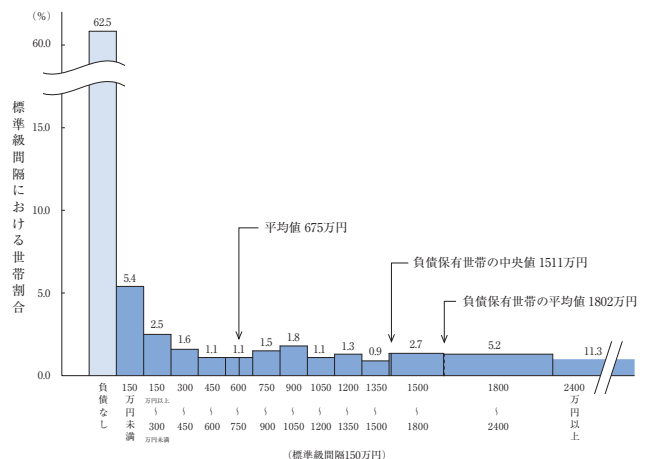
## 3 負債現在高は675万円で、前年に比べ1.8%増加し、比較可能な2002年以降で最多

二人以上の世帯における2025年平均の1世帯当たり負債現在高(平均値)<sup>※1</sup>は、675万円で、前年に比べ12万円、1.8%の増加となり、4年連続の増加となるとともに、比較可能な2002年以降で最多となりました。また、負債の種類別に負債現在高をみると、負債現在高の91.9%を占める住宅・土地のための負債は、620万円で、前年に比べ8万円、1.3%の増加となりました。

負債現在高階級別の世帯分布をみると、負債保有世帯の割合は37.5%となっており、そのうち、負債保有世帯の平均値(1802万円)を下回る世帯が56.0%を占めています。また、負債保有世帯の中央値<sup>※2</sup>は、1511万円(前年1480万円)となりました(図4)。

- ※1 負債現在高が「0」の世帯を含めた平均値
- ※2 負債保有世帯の中央値とは、負債現在高が「0」の世帯を除いた世帯を負債現在高の少ない方から順番に並べたときに、ちょうど中央に位置する世帯の負債現在高をいう。

図4 負債現在高階級別世帯分布(二人以上の世帯) - 2025年 -



# 令和8年度地方統計職員業務研修(中央研修)を開催しました

## 地方統計職員業務研修(中央研修)とは

総務省政策統括官(統計制度担当)室では、地方統計機構の機能の充実強化に資するため、都道府県統計主管課で研修の企画・運営に従事する職員や自ら研修講師を務める職員を対象に、毎年度、地方統計職員業務研修(中央研修)を実施しています。

今回は、5月に開催した中央研修の概要を紹介します。

令和8年度の中央研修は、5月15日(金)に総務省第2庁舎7階大会議室で開催するとともに、会場の様子を「Webex」によりライブ配信し、44都道府県の統計関係職員に参加いただきました。

## ○講義(地方統計職員業務研修の実務)

### 「『統計実務基礎知識』のポイント」

(講師：総務省統計研究研修所 高橋 伸一 教官)

統計実務全般について網羅された資料「統計実務基礎知識」を基に、統計の役割、統計法規、近年の統計行政における動きに加え、調査の実施やデータの利用に際して留意が必要な点を解説していただきました。

受講者からは、業務に必要な知識を体系的に整理することができたとの声が聴かれました。

## ○講義(統計行政の動き)

令和7年度に統計局統計データ利活用センターが実施した「EBPMブートキャンプ」に参加した地方自治体をお招きし、それぞれの取組内容を紹介していただきました。

### ・「安定経営と公共交通サービス維持の両立に向けたビッグデータの利活用」

(講師：仙台市交通局事業企画室 岡田 裕司 室長)

市内のバス路線の再編に向け、乗降データや人流データを分析し、利用ニーズの把握を行ったプロセスに加え、ブートキャンプ参加後のデータ利活用状況について解説していただきました。

受講者からは、課題設定からデータ分析、解決策の検討に至る流れについて、具体的なイメージをつかめたとの声が聴かれました。



講義風景(仙台市 岡田講師)

### ・「統計・財政情報連携プラットフォームの構築とデータ視覚化による予算編成業務の改善」

(講師：厚木市こども育成課 中林 正隆 副主幹兼係長、同市財政課 菅原 大輔 主事)

市で予算編成業務のために作成されていたダッシュボードについて、e-Stat等を活用したデータソースの拡充や継続的な運用が可能となるような改良を行った過

程を紹介していただくとともに、ダッシュボードを利用したデータ分析手法について、操作実演を交えて解説していただきました。

受講者からは、膨大な統計データや行政情報をただの数字と捉えていたが、課題解決のための実用的なツールとして活用することの重要性を認識できたとの意見が聴かれました。



講義風景(厚木市 中林講師、菅原講師)

## ○講義(特別講義)

### 「普及啓発事業の実践と展開に向けたポイント」

(講師：株式会社Rejoui 見並 まり江 取締役)

都道府県における統計調査の環境改善のための普及啓発事業の実施状況について、政策統括官(統計制度担当)室から委託した情報収集の結果を具体的な事例の紹介も交えながら解説していただきました。

受講者からは、他県の実例を知ることができ、今後の事業の検討に当たって参考になったとの声が聴かれました。



講義風景(株式会社Rejoui 見並講師)

全体を通じて、統計に関する基本的な内容を再確認するとともに、他の自治体における取組の実例を知る貴重な機会が得られたとの声が聴かれました。今回受講された皆様にとって、今後、各都道府県や市区町村の職員に対する地方統計研修の企画や運営を行っていただく上で、本研修が少しでも有意義なものとなれば幸いです。

# 》》令和8年度統計研修 本科（総合課程）（後期）の御案内《《

総務省統計研究研修所では、国、地方公共団体の職員（教員を含む。）及び政府関係機関の職員を対象に、統計作成の中核を担う高い専門性を有した人材の育成及び統計を政策の立案等に活用するための統計リテラシーの向上を目的として、様々な研修を実施しています。

今回は、「本科（総合課程）」の後期について御紹介します。

※「本科（総合課程）」は、年2回（前期：6月上旬～8月上旬、後期：10月上旬～12月上旬）実施しています。（前期・後期で講義内容は同じ。）なお、講義内容や日程などは変更になる場合があります。

## 令和8年度「本科（総合課程）」（後期）

研修期間：令和8年10月上旬～12月上旬

募集締切：令和8年7月下旬

募集人員：30名

対象：初級及び中級のオンライン統計研修  
5講座（※）修了者

（※）初級「初めて学ぶ統計」  
「統計担当者向け入門」  
中級「統計分析の基本」  
「統計利用の基本」  
「調査設計の基本」

（受講予定者は、受講決定後に上記5講座の研修を受講することも可能です。）

本科（総合課程）は、統計の基本から応用まで幅広い知識・スキルを習得するとともに、様々な演習（ExcelやR、模擬的な調査票作成と集計、テーマを設定しての個人研究等）を通じて実践力の養成を目的として実施しています。

本課程を受講することで、統計に関する知識を網羅的に習得することができます。また、この知識を応用して、統計業務のみならず、各種行政施策の企画・立案・評価を行う際に、統計を活用した分析が可能となります。

## ～主な講義内容を御紹介します～

本科（総合課程）では、統計教育及び統計業務の第一線で活躍されている経験豊富な講師が講義を行います。なお、一部の科目では、講義内容の効果測定として試験を実施します。

### 基礎科目：統計解析ソフト(R)によるグラフ作成演習

統計解析ソフト(R)を使ったグラフ作成・分析ツールの使い方などを習得します。

### 統計学：記述統計、推測統計、多変量解析など

記述統計では、オンライン統計研修「統計分析の基本」の「記述統計基礎・演習」で学んだ基本統計量、度数分布表の作成などを復習します。推測統計では、オンライン統計研修「統計分析の基本」の「推測統計概論・演習」で学んだ確率・確率分布や区間推定、仮説検定、誤差の推計方法などを復習します。多変量解析では、オンライン統計研修「統計分析の基本」の「重回帰分析の基本」で学習した重回帰分析の方法を踏まえ、多変量解析の手法を応用した演習中心の講義を行い、複数の変数から要因分析を行う力を身に付けます。

### 統計調査論：統計調査、国際統計、統計分類

統計調査では、統計調査の企画や調査票の設計、結果の集計・公表・提供など、統計調査の実施全般について学びます。国際統計では、世界の統計体系、国際基準、国際統計の情報源などについて学びます。統計分類では、統計分類の仕組み、産業分類の主な変更点などを学びます。

### 人口・社会統計分析：人口分析、社会分析など

人口分析では、人口統計の体系と調査概要、人口分析の手法、将来人口推計の手法、現下の人口問題などを学び、基礎的な分析力を身に付けます。社会分析では、社会現象にアプローチする上での基礎的なデータ収集法及びデータ分析法などを学びます。

### 経済統計分析：経済分析基礎理論、国民・県民経済計算、消費・物価分析など

経済分析基礎理論では、経済学の基礎知識を習得するとともに、基本的な分析手法などを学びます。国民・県民経済計算では、その意義、SNAの概要、回帰モデルによる分析手法の基礎などを習得します。消費・物価分析では、その体系や物価指数理論、消費・物価分析の手法、現下の消費・物価問題などを学びます。

## 統計データアナリスト研修

「公的統計の整備に関する基本的な計画」において、統計作成のみならず政策立案の支援も行う統計業務資格保有者（国家公務員対象）である「統計データアナリスト」を育成することとなっており、本科（総合課程）は「統計データアナリスト課程」と位置付けられています。

統計データアナリストに必要な統計作成プロセスの各業務に必要な事項、品質管理、関連制度、政策への統計データの活用について学習することにより、統計データアナリストに必要な知識を身に付けます。

### ～個人研究やグループ演習も行います～

座学で習得した統計の知識・理論、技能等を用いて、個人でテーマを決めて分析・発表する個人研究及びグループで統計調査の企画・設計から集計・発表までを行うグループ演習を行います。

## 個人研究

受講者それぞれが、興味のある分野について研究テーマを設定した上で、研修で学んだ統計理論や分析手法を用いて分析を行い、レポートを執筆するとともに、プレゼンテーション手法を学び、発表も行います。

## 調査企画（グループ演習）

5人程度のグループで、どのような調査を行うかのテーマを選定した上で、調査票の作成、標本設計、結果表の作成など、調査の企画設計全体に係るグループ演習を行います。



修了式の様子

公務における統計データの利活用の重要性はますます高まっています。本科（総合課程）では、約1か月間で、初級及び中級のオンライン統計研修を修了し、2か月間の対面研修で、統計に関する知識を網羅的に習得できる研修内容となっています。是非受講、派遣を御検討いただければと思います。統計研究研修所は、皆様の受講をお待ちしています。

御不明な点については、下記の間合せ先まで御連絡ください。

間合せ先：統計研究研修所 管理・研修部

研修企画課 企画係

TEL：042-320-5874

E-mail：o-kenkikaku@soumu.go.jp

# 「明日への統計2026」を御活用ください

総務省統計局では、統計調査の円滑な実施と結果の利活用を推進するため、同局が実施する統計調査結果を分かりやすくまとめた冊子「明日への統計」を毎年作成しています。

この度、「明日への統計2026」を作成しました。統計調査の広報等幅広く御活用いただくとともに、一人でも多くの皆様の統計調査への理解を深めていただく一助となれば幸いです。



### 【特集】今年度実施予定の主要統計調査

「令和8年経済センサス・活動調査」及び「令和8年社会生活基本調査」に期待されることについて、有識者の解説を掲載しています。

また、調査の概要及び前回調査の結果を紹介し、本調査でどのようなことが明らかにされるのかについて解説しています。

### 調査の結果からわかること

我が国の社会・経済の状況について、図表やイラストを多用し、以下の7つのテーマ（\*）について視覚的に分かりやすく紹介しています。

（\*）「日本の人口」、「住宅・世帯のすがた」、「労働のようす」、「こどものようす」、「高齢者のようす」、「家計・物価のうごき」、「企業のすがた」

### 統計情報の利用について

各府省が公表する統計データの取得や地図上に表示する機能等を備えた政府統計の総合窓口（e-Stat）のほか、データに基づいて課題を解決する“データサイエンス”力の高い人材育成のための取組等を紹介しています。

総務省統計局ホームページでも御覧になれます。

<https://www.stat.go.jp/info/guide/asu/>



# 最近の数字

	人口		労働・賃金			産業		家計(二人以上の世帯)		物価	
	総人口 (推計による人口)		就業者数	完全失業率 (季節調整値)	現金給与総額 (規模5人以上)	鉱工業 生産指数 (季節調整値)	サービス産業 の月間売上高	1世帯当たり 消費支出	1世帯当たり 可処分所得 (うち勤労者世帯)	消費者物価指数	
	千人(Pは万人)	万人	%	円	2020=100	兆円	円	円	円	全国	東京都区部
実数	2025.12	123,165	6842	2.6	632,196	100.2	40.7	351,522	1,010,407	113.0	112.0
	2026.1	P 12295	6776	2.7	299,768	104.5	P 36.0	307,584	432,712	112.9	111.9
	2	P 12286	6779	2.6	298,542	102.4	P 35.6	289,391	490,520	112.2	111.4
	3	P 12285	6773	2.7	318,563	102.0	P 45.6	334,701	453,448	112.7	111.7
	4	P 12286	6860	2.5	P 312,425	P 102.8	...	328,969	493,684	113.0	112.4
	5	P 12281	...	...	...	...	...	...	...	...	P 112.7
前年同月比	2025.12	-	0.5	* 0.0	2.4	* 0.6	7.5	-2.6	1.2	2.1	2.0
	2026.1	-	-0.0	* 0.1	2.5	* 4.3	P 5.0	-1.0	1.3	1.5	1.5
	2	-	0.2	* -0.1	3.4	* -2.0	P 4.1	-1.8	2.0	1.3	1.5
	3	-	0.0	* 0.1	3.1	* -0.4	P 4.8	-2.9	4.7	1.5	1.4
	4	-	0.9	* -0.2	P 3.5	* P 0.8	-	-0.5	2.3	1.4	1.5

(注) P:速報値 \* :対前月  
家計(二人以上の世帯)の前年同月比は実質値

## 掲示板 統計関係の主要日程 (2026年6月~2026年7月)

### 《会議及び研修関係等》

時期	概要	時期	概要
6月1日	ブロック別統計主管課長会議(関東甲信静ブロック)	6月10日	オンライン統計研修【第1回】統計データアナリスト研修「統計データアナリスト研修」開講(～7月7日)
〃	ブロック別統計主管課長会議(東海・北陸ブロック)	〃	オンライン統計研修【第1回】データ活用コース「データサイエンス演習」開講(～7月7日)
2日	ブロック別統計主管課長会議(北海道・東北ブロック)	〃	オンライン統計研修【第1回】データ活用コース「誰でも使える統計オープンデータ」開講(～7月7日)
〃	ブロック別統計主管課長会議(中国・四国ブロック)	7月13日	登録調査員中央研修
〃	統計データアナリスト研修「本科(総合課程)」開講【集合】(～8月3日)	17日	ブロック幹事県等統計主管課長会議
10日	オンライン統計研修【第1回】統計取扱業務担当職員向け研修「統計担当者向け入門」開講(～7月7日)	29日	教育関係者向けコース【滋賀大学との共催セミナー】「教育関係者向けセミナー」(滋賀大学開催)開講【ライブ配信】
〃	オンライン統計研修【第1回】統計実務職員(統計データアナリスト補)研修「統計分析の基本」開講(～7月7日)		

### 《調査結果の公表関係》

時期	概要	時期	概要
6月5日	家計調査(家計収支編:2026年4月分)公表	7月24日	サービス産業動態統計調査(2026年5月分速報及び2026年2月分確報)公表
〃	家計消費状況調査(支出関連項目:2026年4月分)公表	〃	消費者物価指数(全国:2026年6月分)公表
〃	消費動向指数(CTI)2026年4月分公表	〃	小売物価統計調査(全国:2026年6月分)公表
19日	消費者物価指数(全国:2026年5月分)公表	〃	家計調査(貯蓄・負債編:2026年1～3月期平均)公表
〃	小売物価統計調査(全国:2026年5月分)公表	28日	住民基本台帳人口移動報告(2026年6月分)公表
〃	統計でみる市区町村のすがた2026 刊行	29日	経済構造実態調査(2025年二次集計結果)公表
〃	人口推計(2026年1月1日現在(令和2年国勢調査を基準とする確定値)及び2026年6月1日現在概算値)公表	31日	労働力調査(基本集計)2026年6月分及び4～6月期平均公表
23日	サービス産業動態統計調査(2026年4月分速報及び2026年1月分確報)公表	〃	消費者物価指数(東京都区部:2026年7月分(中旬速報値))公表
25日	住民基本台帳人口移動報告(2026年5月分)公表	〃	小売物価統計調査(東京都区部:2026年7月分)公表
26日	消費者物価指数(東京都区部:2026年6月分(中旬速報値))公表		
〃	小売物価統計調査(東京都区部:2026年6月分)公表		
30日	労働力調査(基本集計)2026年5月分公表		
7月7日	家計調査(家計収支編:2026年5月分)公表		
〃	家計消費状況調査(支出関連項目:2026年5月分)公表		
〃	消費動向指数(CTI)2026年5月分公表		
21日	人口推計(2026年2月1日現在(令和2年国勢調査を基準とする確定値)及び2026年7月1日現在概算値)公表		

**編集発行** **総務省統計局**

〒162-8668 東京都新宿区若松町19-1

総務省統計局 統計情報利用推進課 情報提供第一係

TEL 03-5273-1160 E-mail y-teikyoul@soumu.go.jp

ホームページ <https://www.stat.go.jp/>

御意見・御感想をお待ちしております。